



LABO Twitter vol.3

「LABO Twitter」は富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部ホームページから閲覧できます。
ホームページアドレス <http://www.hosp.u-toyama.ac.jp/ccla/index.html>



きたじま いさお

北島 勲 検査・輸血細胞治療部 部長

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

検査・輸血細胞治療部ご利用の患者様および診療担当者の皆様には、日頃より多大なご支援を頂き感謝申し上げます。

本年も、私たちの検査品質方針に則り、検査サービスに対する満足度を一層高め、皆様により近い存在となるよう努力する所存です。また、精密・正確・迅速な検査実施と報告を通じ、富山大学附属病院の発展に寄与して参りたいと思います。

本年の目標として、大学病院の果たす先進医療発展の一翼を担う存在となることを掲げています。日本医療研究開発機構（AMED）に採択されました「新たな起炎菌同定と定量技術を基盤とし、菌数をバイオマーカーとする検査システム」を基盤に、「敗血症起炎菌迅速検査システム」の先進医療取得が今年の大きな目標であります。

また、私たち検査・輸血細胞治療部には、バイオマーカー探索が期待できる検査機器として、「タンデム質量分析装置」（Lipid chromatography-tandem mass spectrometry, LC-MS/MS）が既に整備されております。質量分析検査機器を用いて、がん、生活習慣病の病態検査として注目されているアミノ酸分析や栄養評価として注目されるビタミンD(25OHD3)の測定などを考えております。各診療科や講座・研究室で興味のあるバイオマーカーがございましたら、是非相談させていただければと思います。

さらに、遺伝子検査では、CHIPS 法を導入して遺伝子変異領域を特定し、領域を絞ってシーケンスを行うことで迅速に遺伝子変異を解析できるシステムの構築に着手しています。診療科や講座・研究室からのシーケンス依頼に迅速に対応し、ゲノム医療の推進に寄与して参ります。

以上、皆様のご要望に応え、医療サービスの向上に貢献していきたいと思っております。本年もご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。





学会に参加・発表してきました！

私たちは1年を通して様々な学会に参加しています。参加するだけでなく積極的に発表も行うように努力しており、今回、その一部を紹介します。

日本臨床検査自動化学会第49回大会・JACLaS EXPO 2017に参加・発表して 輸血細胞治療部門 大槻 晋也



2017年9月21日～9月23日にパシフィコ横浜で開催された日本臨床検査自動化学会第49回大会に参加し、「汎用自動分析装置を用いたIL-2R測定試薬「ナノピア®IL-2R」の基礎的検討」という題目で演題発表を行いました。今回の大会テーマは「臨床検査の自動化の躍進と医療貢献」ということで検査の自動化がますます進む中、検査技師の在り方について発表や講演を通して改めて考えさせられました。また、同時開催されたJACLaS EXPO 2017にも参加しました。全自動分析装置や管理システムをはじめとし、各社の機器を一度に比較検討することができ、当院での機器更新を見据えた情報収集の場としてとても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

今後も学会や研修会に積極的に参加し、日常業務に還元していきたいと思えます。



第64回日本臨床検査医学会学術集会に参加・発表して

生理検査部門 齋藤 晶子

2017年11月16日～19日に国立京都国際会館で開催された第64回日本臨床検査医学会学術集会で、「プロテインS 徳島スクリーニング簡易遺伝子検査法開発と不育症外来患者の血栓性素因スクリーニングの有用性」について発表しました。本学会を通して、検査医学の動向を知ることができ、今後の遺伝子検査の重要性を感じました。また「非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) /非アルコール性脂肪肝炎 (NASH)の臨床検査診断に関するシンポジウム」に参加し、腹部超音波検査領域の知識を深めることが出来たと同時に、

まだまだ勉強不足だと感じさせられました。来年度も学会や研修会に参加することで、意欲的に知識を吸収していきたいと思えます。



新年あけましておめでとうございます。
今年も検査に関する情報発信をしていきます。
知りたい情報がございましたら、お聞かせください。
次回は4月発行を予定しています。

編集者一同

